

Rhythm of Green

石橋文化センター情報誌 みどりのリズム

October, 2020
Vol.375

10



久留米市美術館 本館2階
鴨居玲展 静止した刻 12月6日まで開催

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、掲載内容に関して変更場合があります。またご来園の際は、マスク着用や手洗い・消毒、咳エチケットなどにご協力お願いします。なお、発熱や体調不良の場合は、来園をお控えくださいますようお願いいたします。



石橋文化センター
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

本館2階

没後35年 鴨居玲展 静止した刻 — 12月6日(日)

鴨居玲(1928-1985)は石川県金沢市に生まれ、金沢美術工芸専門学校(現 金沢美術工芸大学)で宮本三郎に学びました。1969年の安井賞受賞で一躍脚光を浴びると制作の拠点をフランスやスペインに移し、老人や酔っ払いに自身の姿を重ねる独自のスタイルを確立。1977年に帰国し、神戸にアトリエを構えてからは、裸婦像の制作に本格的に取り組むなど新たな展開を見せますが、突如57歳で自らの人生に幕を下ろしました。

人間の弱さや醜さに目を背けず、ひたすら人間の内面を描き続けた鴨居玲。確かなデザイン力で描かれた老人や酔っ払い、宙に浮かぶ教会やおびただしい数の自画像といった作品の数々は、美醜を超えて人間の極限的なものを私たちに突きつけます。

没後35年の節目に開催する本展では、出世作となった安井賞受賞作《静止した刻》や《1982年 私》などの代表作を含む約100点の作品と資料によって「人間とは何か?」を問い続けた画家、鴨居玲の全貌を紹介します。

入館料 一般1,000円(800円)、シニア700円(500円)、大学生500円(300円)

高校生以下無料

※()内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上

※上記料金にて、石橋正二郎記念館もごらんいただけます。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳等の交付を受けている方とその介護者1名は、一般個人料金の半額となります。

※前売券はチケットぴあ、ローソンチケット取り扱い店などにて600円で販売
(Pコード685-258、Lコード86699)

※11月3日(火・祝)文化の日と11月19日(木)の開館記念日は入館無料



《私の話を聞いてくれ》1973年 長崎県美術館



《私の村の酔っばらい》1973年
公益財団法人ひろしま美術館



作品介绍

青色の空間に浮かぶ、窓も扉もない石造りの教会。地面に十字の影を落とし、屋根上には見落としてしまいそうなほど小さな十字架が掲げられています。

「スペインの田舎へ行っている時、一番、強く感じたのは『何故、自分は神を持っているのか』ということでした」という鴨居。日本の宗教観と異なる海外で暮らした鴨居は、神の存在への問いかけとして教会を描いたのでしょう。

この教会シリーズは、1969年頃から鴨居が没するまで20年近く続けられ、様々なバリエーションが展開されました。本展では、浮かぶ教会を窓越しに見つめる、教会シリーズの中でも他に例を見ない異色な構図で描かれた作品も展示しています。

《教会》1976年 公益財団法人ひろしま美術館

本館1階 | 展覧会スケジュール

- | | |
|------------------|-------------------------------------|
| ■ 筑陽学園デザイン科デザイン展 | 10月29日(木)13:00~11月1日(日) 入場無料 |
| ■ 第71回西部示現会展 | 11月17日(火)~11月22日(日) 一般300円・大学生以下 無料 |
| ■ 久留米市中学校美術作品展 | 11月25日(水)~12月3日(木) 入場無料 |

画家の素顔2 —————・坂本繁二郎

久留米市美術館で所蔵する作品の作者についてご紹介するコーナーの2回目は、坂本繁二郎をとりあげます。

坂本繁二郎は、明治15(1882)年3月2日、久留米に生まれました。東京で絵の勉強をし、約3年間フランスで学んだ後は、久留米そして八女を制作の地を選び、昭和44(1969)年7月14日、87年の生涯を終えました。明治から大正、昭和の三代をしっかりと地に足をつけて制作に邁進した生涯でした。同じ年同じ久留米に生まれ、明治を駆け抜けた青木繁とは対照的でもあります。

青木との間に残るエピソードはたくさんありますが、その中でも坂本の絵に対する姿勢を決定づけた出来事があります。青木は他人の絵に手を加えるので有名でした。そのほうがいい絵になると本人は信じていたし、被害?に遭っても誰も文句一つ言わなかったようです。しかし、坂本は違っていました。八分どおりできあがった絵に筆を入れられた坂本は、「あやまれ! 芸術の道は一つではない」と詰め寄り、青木はそのけんまくに押され「悪かった」とあやまったそうです。坂本の内に秘めた情熱を物語るエピソードでもあります。

久留米市美術館ホームページ内のフェイスブックでは、コレクションを音楽とともに楽しむ映像を公開しています。ぜひご覧ください。



坂本繁二郎



1911年29歳の坂本(東京時代)



Hello!

びじゅつかん手帖デビュー

久留米市美術館本館、石橋正二郎記念館では「びじゅつかん手帖」を来館者の方へお渡ししています。

「びじゅつかん手帖」は展覧会の感想を書きとめたり、正二郎クイズが楽しめるワークシート。全部書き込んだら、表紙にシールをペタリと貼って仕上げます。シールデザインはキタカゼパンチさんのハンコをもとにしたもの。展覧会毎に作品モチーフが変わります。シールは参加記念の缶バッジと共に記念館でお渡しします。



石橋正二郎記念館 SHOJIRO ISHIBASHI MEMORIAL MUSEUM

郷里久留米の発展に尽力した石橋正二郎の歩みやひとなり、正二郎によって建設寄贈された石橋文化センターの60余年の歴史を紹介しています。

同館展示室の奥に設置されたガラスケース内には、石橋正二郎ゆかりの作品が展示されています。ここは年に数回展示替えをしており、現在は「正二郎と青木繁」のテーマで正二郎の美術品収集の第一歩となった青木繁の作品について紹介しています。

入館料 一般・シニア・大学生 300円 高校生以下無料

※久留米市美術館主催展覧会のチケットをお持ちのお客様は無料で入館できます。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳等の交付を受けている方とその介護者1名は、一般個人料金の半額となります。

※11月3日(火・祝)文化の日と11月19日(木)の開館記念日は入館無料



青木繁《木立(森の暮色)》1904年
石橋財団アーティゾン美術館



久留米市美術館
KURUME CITY ART MUSEUM
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

〒839-0862 久留米市野中町1015番地 TEL: 0942-39-1131 FAX: 0942-39-3134

URL: <https://www.ishibashi-bunka.jp/kcam>

開館時間/10:00~17:00(入館は16:30まで) 休館日/月曜日(11/23は開館)

<https://www.facebook.com/KurumeCityArtMuseum/>

<https://twitter.com/KurumeCityArtMu>

秋を探しに 石橋文化センターに行こう！

未だ、感染症の広がりですぐ外出を控えることが多くなっていますが、こんな時だからこそ、バラが彩り紅葉に染まる石橋文化センターを巡り、色々な秋を楽しんでみませんか。

美術館の展覧会を鑑賞して、園内に展示されたアート作品で「芸術の秋」を感じ、バラに囲まれた特設ステージでは、ステキなミュージシャンの生演奏で「音楽の秋」を楽しむことができるのも文化センターならではの。

秋と言ったら「食欲の秋」。紅葉で染まった日本庭園が一望できるカフェ楽水亭では、秋にちなんだメニューで秋の味覚を堪能。おなかいっぱいになったら、お気に入りの場所で「読書の秋」はいかがですか。

夜になったら、幻想的なライトアップも必見です。

まるまる一日、園内ぐるっと、秋の石橋文化センターを楽しみましょう！



■ 秋の見どころ園内マップ



【ローズガーデンコンサート】
見ごろのバラとケヤキの紅葉に
囲まれた特別ステージで生演
奏をお届けします。



【バラ園】

10月中旬から11月下旬にかけて400品種2600株のバラが見ごろを迎えます。



園内ではお客様同士の間隔を保ち、ゆっくりと散策をお楽しみください。

～芸術の秋を探して～

すっかり秋の風物詩となった、園内を散策しながら気軽に楽しめるアート作品たち。石橋文化センターや久留米の歴史、文化に着想を得たり、園内の自然とコラボレーションしたり、どの作品も個性豊かで、毎年、子どもから大人まで大好評です。

今年も、アーティストが園内を何度も下見をし、インスピレーションを感じながら、作品制作に挑んでいます。

どんな作品で私たちを楽しませてくれるのか楽しみです。



秋の一番のハイライトは、夜のライトアップ。

そこはまるで、光に照らされ創り出される幻想的な“光のアート空間”です。

いつも目にしているペリカン噴水や美術館はいつもと違った雰囲気、日本庭園に静かにたたずむ楽水の池やダイナミックに流れる一丈の滝は日本情緒がより際立ち、色づいたカエデはさらに色鮮やかになります。

秋の夜長に、昼間と違う光の空間を、散策するのはいかがですか。昼だけじゃなくて夜も楽しい季節。秋風を感じ園内を巡りながら芸術を身近に感じてみませんか。

◎作品展示、ライトアップ期間10/31(土)～11/23(月・祝)※ライトアップは週末のみ

～味覚で感じる秋～

色とりどりバラを見て楽しんで香りを楽しんだ後は、美術館の奥にあるカフェ楽水亭のオリジナルメニューのバラ御膳で、味覚でもバラを楽しんでみては。自然の中で紅葉狩りを楽しんだ方は、旬の食材を活かしたもみじ御膳で決まり。

この季節限りのおすすめメニューで楽しんでください。

秋空のもとで楽しむのなら、やっぱり、テイクアウトの一番人気のバラソフト。バラのエキ스가たっぷり詰まったソフトクリームを、図書館南側の木陰の椅子に腰を下ろしてバラを鑑賞しながら味わう。そして、バラ園から秋風に乗って聞こえてくる生演奏の音色に癒される、そんなぜいたくな自分時間で食欲の秋を満喫しましょう。

◎バラ御膳10/17(土)～11/13(金)、もみじ御膳11/14(土)～12/6(日)



バラとアートと音楽で贈る「ローズガーデンコンサート」

開催予定日 **10月31日(土)・11月1日(日)・3日(火・祝)・21日(土)・22日(日)・23日(月・祝)**

シンボリックな花「バラ」に囲まれて聴く生演奏は格別。

クラシックからジャズ、邦楽など、様々なジャンルの演奏家たちがバラとアートをテーマに音楽を奏でます。

●出演予定ミュージシャン：吉本令子(久留米市)

演奏会の中止が続いている中で、ようやく演奏できることを考えると、とても嬉しいです。石橋文化センターの中でも私のお気に入りの場所のひとつ、バラ園での演奏に今からワクワクしています。今回は、バラとアートをテーマに、色々な曲をピアノとバイオリンでお届けします。

ぜひ、秋の石橋文化センターならではの特別ステージ「ローズガーデンコンサート」で、生演奏をお楽しみください。



吉本 令子



見ごろを迎えたバラ園で、みなさまに安心して音楽をお届けしたい!そんな思いで、ミュージシャンとスタッフが丸となり、何度もシミュレーションをして新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を考えています。

今回のコンサートでは、座席の間隔にゆとりをもって、また、散策しながら気軽に鑑賞いただけます。消毒・マスク着用等につきましても、皆様のご理解、ご協力をお願いします。

スタッフ一同、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

カフェ&ギャラリーショップ楽水亭

営業時間／10:00～17:00 場所／石橋文化センター園内 美術館東側

■ 美術館展覧会「没後35年 鴨居玲展」開催記念フェア

～12月6日(日)

ギャラリーショップでは、鴨居玲の出身地である石川県のお菓子や雑貨を販売します。

さらに鴨居玲がアトリエを構えて4年間滞在したスペインの色鮮やかな食器を販売します。カフェでは期間限定のフェアメニュー「わり氷抹茶セット」をご用意しております。展覧会と共にどうぞお楽しみください。

● ギャラリーショップにて販売 石川県商品 ※写真はイメージです。[金額]はすべて税込み。



兼六芋チップス
[540円]



金澤手まり 加賀棒茶飴
[1,080円]



はちまんさん(らくがん)
[600円]



九谷焼ジャーキャップ
[2,860円]



のどくるチップス
[648円]



かにチップス
[648円]



ふやきおーれ(いちご/抹茶/バナナ)
[350円]

● カフェメニュー「わり氷抹茶セット」 520円

わり氷は石川県金沢市にある村上製菓所で作られている、淡く透きとおった色彩の繊細な干菓子です。寒天の乾燥に六日間かける伝統製法で、外はカリッと中はしっとりとした食感を楽しめます。創業明治44年という100年以上の歴史をもつ老舗店のお菓子・わり氷と奥八女・星野村の上質なお抹茶のコラボレーションをお楽しみください。わり氷は、ギャラリーショップでも購入できます。[270円/1袋40g]



※写真はイメージです。

● スペイン食器



チケット情報 TICKET INFORMATION

石橋文化センター友の会会員特典。割引マークの付いたチケットを10%割引で1人2枚まで購入可(電話予約可)。ただし、石橋文化センター窓口、情報サテライトのみ販売。



新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、催事の中止・延期など変更の場合がございます。詳細は主催者・問合せ先へご確認ください。

おりなす八女

25(日) 15:00 千住真理子ヴァイオリン・リサイタル
問 おりなす八女 tel.0943-22-5332 全席指定 一般3,500円 高校生以下1,000円

大牟田ひまわりホール

2021年 3/14(日) 15:00 ワルター・アウアー フルートリサイタル
問 ひまわりホール tel.0944-56-2747 全席自由 一般4,500円 中学生以下3,000円

城島インガットホール

17(土) 14:00 岩崎洵奈 ピアノリサイタル
問 城島インガットホール tel.0942-62-2110 全席指定 一般1,000円 高校生以下500円 (当日200円増)

※上記内容は9月17日現在のものです。販売状況により、お取扱いできない場合もございますので、何卒ご了承ください。
★石橋文化センター情報サテライト(久留米シティプラザ2階)でも文化事業チケットを取り扱っております。(10時～18時、臨時休館あり)

問 お問合せ

ホールイベント情報 HALL EVENT INFORMATION

新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、催事の中止・延期など変更の場合がございます。詳細は主催者・問合せ先へご確認ください。

石橋文化ホール		市民ギャラリー「みゅへず」	
4(日) 10(土) 29(木) 10:00 - 21:00	ちょっと気軽にスタインウェイ ～スタインウェイピアノを弾こう～ 主 石橋文化センター tel.0942-33-2271 1時間3,000円 (予約制)	10(土) 11(日) 10:00 - 17:00	建築家展Plus 無料 問 ASJ久留米スタジオ(大石建設会社) tel.0942-45-0014
石橋文化会館小ホール		文化センター共同ホール	
23(金) 10:00 - 14:00 (最終受付13:30)	子育て女性のための合同会社説明会 問 株式会社パソナ tel.092-741-6711 無料 ※無料託児あり (要予約)	11(日) 18(日) 24(土) 10:00 - 21:00	ちょっと気軽にKAWAI EX 1時間2,000円 (予約制) 主 石橋文化センター tel.0942-33-2271
		11/3(火・祝) 13:30 - 16:00	第53回ピアノ発表会 無料 問 田中ピアノサークル tel.0942-22-1754

※ 上記内容は9月17日現在のものです。また、上記内容については主催者が会場の申し込みをされる際に申し出られたもので、主催者の都合により変更になる場合があります。

主 公益財団法人久留米文化振興会主催事業 **問** お問合せ

お知らせ

ちょっと気軽にスタインウェイ&KAWAI EX

ステージ上に設置したフルコンサートモデルのピアノを、貸切で練習利用することができます。ぜひ気軽にご利用ください!

ちょっと気軽にスタインウェイ

10月4日(日)・10日(土)・29日(木) 石橋文化ホール

料金 ¥3,000(1時間)

ちょっと気軽にKAWAI EX

10月11日(日)・18日(日)・24日(土) 文化センター共同ホール

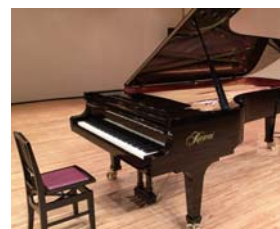
料金 ¥2,000(1時間)

※利用時間は、いずれも10:00～21:00で要事前申込。(1時間単位・1日最大2時間まで)

申込み・問合せ先 石橋文化センター TEL0942-33-2271 FAX0942-39-7837



スタインウェイ「D-274」



KAWAI「EX」

久留米市立中央図書館 KURUME CITY CENTRAL LIBRARY



秋の読書週間

図書館で色々な本と出会ってみませんか?

10月27日から11月9日は読書週間です。この機会に、図書館で新しい本との出会いを見つけませんか。図書館では、毎月様々なテーマで資料展示を行っています。

『おすすめの本発表』では、図書館利用者の方のおすすめの本を、紹介文とともに展示しています(写真は昨年度実施分)。自分では選ばないような本に、ここで出会えるかもしれません。

「いきいき生活コーナー」では、『読書・芸術・スポーツの秋』と題して、この秋新たにチャレンジできる趣味の本を置いています。

なかなか外出できない日が続きますが、新しい世界を見つけに是非図書館へお越しください。

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用・手指の消毒などをお願いしています。ご来館の際はご協力をお願いいたします。)



久留米市立中央図書館
KURUME CITY CENTRAL LIBRARY
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

〒839-0862 久留米市野中町970番地1
TEL: 0942-38-7116 FAX: 0942-38-7183
URL: <http://www.city.kurume.fukuoka.jp/1060manabi/2060library/index.html>

開館時間 (火～金) 10:00～20:00
(土・日・祝) 10:00～18:00
休館日 月曜(祝日は開館)、毎月第4木曜

コラム ———・ アンサンヒーロー ～縁の下の力持ち～

石橋文化センターと「バラ」の縁は、1957年、当時の久留米バラ会から寄贈いただいた750本のバラが始まりでした。今では、石橋文化センターのシンボルフラワーとして、多くの市民の方に愛されています。

春に咲くバラと違い、「秋のバラは人が咲かせる」と言われています。咲く時期を剪定で調整するためです。石橋文化センターでは、10月の中旬から開催される「秋のバラフェア」に見頃を迎えるように、ちょうど45～55日前の9月上旬（2020年は9月4日～）からバラの剪定に入ります。美術館前に広がるバラ園の遅咲きのバラ（ストロベリーアイス、ノスタルジーなど）から剪定がスタート。樹高のおおよそ3分の2を残すように剪定を行います。「どこで切った方がそのバラにとって良いのか？」が非常に難しい…。美しいバラを咲かせるために、日々試行錯誤の繰り返しです。

園内のバラは2600株以上なので、もちろん職員だけで全ての作業を終えることは不可能です。そこで大活躍しているのが「ガーデンサポーター」というボランティアのみなさん。約40人の方が登録されています。様々な園内作業のお手伝いをしていただく中でも、特に秋バラ用の剪定は、約10日間と長く、気温も高いため、かなりの体力を消耗します。いつも一生懸命、根気強く、丁寧に取り組んでいただく姿は心強く、本当にありがたいですし、本当に助かっています。「園内の花が綺麗ですね。」と、よくお客様からお声掛けいただきますが、まさにガーデンサポーターのみなさんのご尽力のおかげ。ガーデンサポーターのみなさんは、まさに石橋文化センターの「アンサンヒーロー（縁の下の力持ち）」です。

〔園内管理係 熊本隆大〕



バラの剪定を行うサポーターのみなさん



バラの鉢物を手入れ

表紙イラストレーション 藤村のりこ 油彩、水彩、クレパスなど、様々な画材や技法を用いて、個展やグループ展を中心に活動。2009年度久留米市芸術奨励賞（洋画）受賞。

私たちは石橋文化センター・久留米市美術館の事業を応援します。

スペシャルパートナー

BRIDGESTONE

オフィシャルパートナー

人へ、地域へ、そして世界へ。
久留米大学

あなたのまちの
筑邦銀行

Grain & Pet Care Communication
MORIMITSU 株式会社 森光商店

For your smile 今も、来年も、笑顔はエネルギー。
喜多村石油株式会社

USE 株式会社 ユー・エス・イー (株) **CCIG 創新会グループ**

※ すべての掲載催事の内容については、9月17日現在のものです。主催者等の都合により、変更になる場合もありますので、ご了承ください。

石橋文化ホール／石橋文化会館／文化センター共同ホール

休館日 月曜日（祝日・振替休日は開館）、年末年始

開園時間 9:00～17:00 ※園内は年中無休。

交通案内 <バス> 西鉄バス①⑨②②②⑤系統 JR久留米駅より約15分、西鉄久留米駅より約5分
「文化センター前」下車 <車> 久留米インターより国道322号線へ車で約10分

駐車場 8:00～22:00 最初の2時間まで200円、以後30分ごとに100円増。
※ ただし30分以内の出庫は無料。
入庫から24時間最大1,000円 ※ 24時間以降30分ごとに100円増
園内利用のバスは、1台500円最長1日まで。（要予約）



石橋文化センター
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

公益財団法人 久留米文化振興会
839-0862 福岡県久留米市野中町1015番地
Tel 0942 33 2271 Fax 0942 39 7837
9:00～17:00 月曜休館（祝日は開館）
www.ishibashi-bunka.jp



石橋文化センター公式Facebook
https://www.facebook.com/ishibashibunka